

足立区立第七中学校
校長 柏木 圭子 様

足立区立第七中学校 開かれた学校づくり協議会

令和6年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

保護者のアンケート結果から、学校の情報発信、学力向上、安全管理、あいさつ、学校行事、学校美化等について、肯定的な回答が示されており、学校の活動について、評価できる。

重点的な取組事項—1の学力向上アクションプランについて、「授業の内容をしっかりと理解できた」「授業が充実していて学ぶ楽しさを感じた」生徒が増加したとの説明であったが、保護者のアンケート結果では、「授業がわかりやすく工夫されている」という問いに対して、肯定的回答が62.8%だったので、主体的・対話的で深い学びをめざした授業とともにさらに生徒にとって、わかりやすい授業の実施をお願いしたい。また、保護者アンケートの設問についても、保護者が答えやすいものを検討していただきたい。

重点的な取組事項—2豊かな心の育成について、「達成感を味わったり、学校生活で自分の役割を考えて行動したりしている」生徒が昨年度より6%上昇し91%以上いることは評価できる。昨今ニュースでも取り上げられているが、不登校生徒への対応を十分にしていきたい。誰もが安心して居心地のよい学校生活を送れるように指導をお願いする。

重点的な取組事項—3健やかな身体の育成について、成果として、「食事や運動、睡眠など自分の健康に気をつけている」生徒が83%を超えたことは成果ととらえている。しかし、スマートフォンの使い方が課題であると聞いている。ゲーム等で長時間、スマートフォンを使用している生徒もいるようだ。SNSルールを活用し、基本的な生活態度や学習にふさわしい態度を身に付けるように指導していただきたい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

今年度は体育祭、文化祭などを見ることができ、地域や保護者が生徒の活躍と成長を見守ることができた。学校からの報告では、生徒からのアンケート結果に「家庭学習の内容を自分で考えて行っている」「将来、どのような職業に就くか考えたり、希望をもったりすることができた」「クラスの人に認められていると感じる」など、穏やかで落ち着いた学校生活の様子が報告された。開かれた学校づくり協議会委員からは、校外においても生徒が積極的にあいさつをしてくれるといった意見があった。今後も、地域と連携して生徒を育てていただきたい。

3 その他

今年度は学校公開週間などの機会において、第七中学校の生徒の学校生活の様子を見ることができた。開かれた学校づくり協議会委員から、第七中の応援団としての活動を推進していくという意見があり、積極的に生徒の成長を見届けていきたい。また、来年度も抽選校となり、第七中学校の入学希望者が増えていることは地域としてもありがたい。